

## 第6章 樹木の状況

### 6-1 調査の概要

中野区全域の、樹高9m以上の樹木のうち、地上高1.5mの幹周りが100cm以上の樹木について、以下の項目を調査した（表6-1）。また街路樹については調査対象外とする。

表6-1 樹木調査の概要

項目	調査内容
樹種名	一般的な科または属名までとし、細かな分類は避けた（表6-2）
幹周り	地上高（1.5m）における幹周り。株立ちについては主要な幹周りの合計の0.7倍とする。
高さ	目視

表6-2 集計に用いた樹木名（科または属にまとめたもの）

科（属）	カエデ	カキノキ	カシノキ	サクラ	シイ
属 す る 種	イタヤカエデ イロハモミジ オオモミジ トウカエデ	カキノキ トキワカキ	シラカシ アカカシ アラカシ ウバメガシ ウラジロカシ	イヌザクラ ウコンザクラ ソメイヨシノ ヤマザクラ	ツブラジイ スタジイ
科（属）	シデ	トチノキ	プラタナス	マツ	
属 す る 種	アカシデ イヌシデ クマシデ	トチノキ セイヨウトチノキ	アメリカスズカケノキ スズカケ モミジハスズカケノキ	アカマツ クロマツ	

## 6-2 調査結果

### 1) 樹木の状況

幹周り別樹木本数を図 6-1 に示す。また区全体の樹木の分布状況を図 6-3 に示す。中野区全域の高さ 9m 以上、幹周り 100cm 以上の樹木は、5,578 本が確認された。幹周り別では 120cm 未満が 723 本、120～150cm が 1,545 本、150～200cm が最も多く 1,954 本、200～250cm が 892 本、250～300cm が 334 本、300cm 以上が 130 本であった。

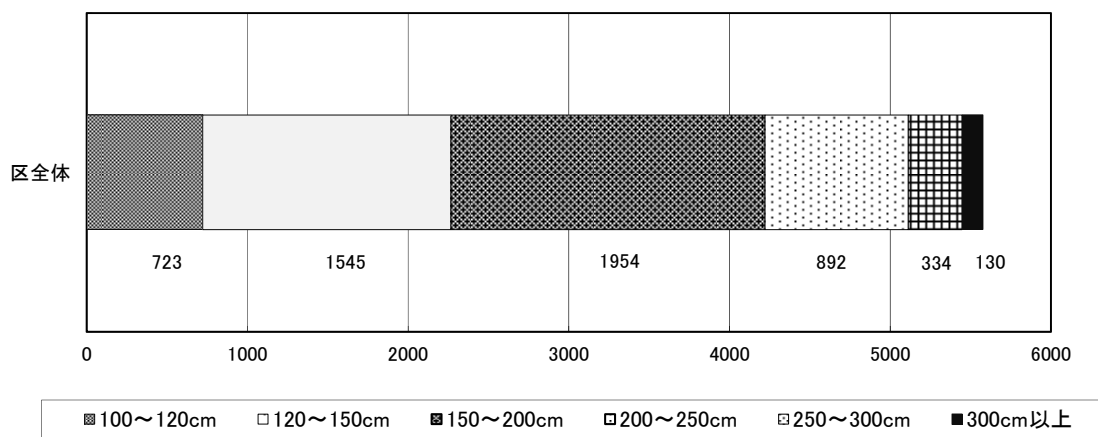


図 6-1 幹周り別本数

樹種別本数及び樹種別割合を表 6-3、図 6-2 に示す。最も多いのはケヤキの 1,074 本で、全体の約 2 割を占める。次いでサクラの 776 本、イチョウの 740 本であった。また、区全体では 77 種が確認されている。

表 6-3 樹種別本数

樹種	本数
ケヤキ	1,074
サクラ	776
イチョウ	740
ヒマラヤスギ	472
クスノキ	393
シイ	309
カシノキ	240
マツ	167
サワラ	123
エノキ	112
コナラ	110
その他	1,062
合計	5,578

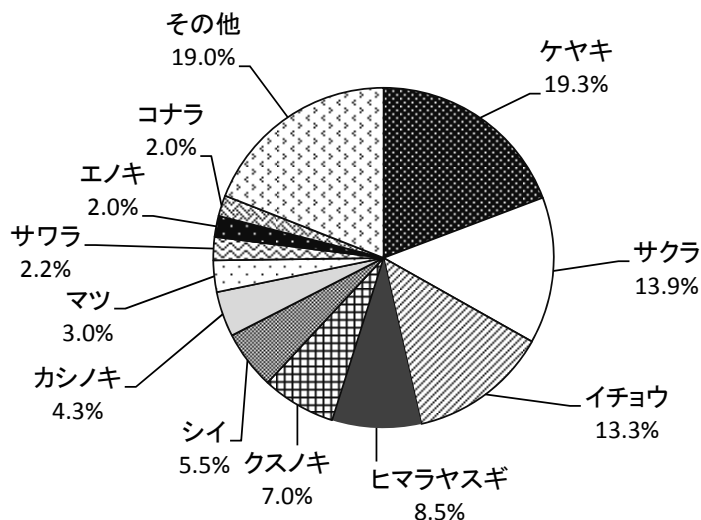
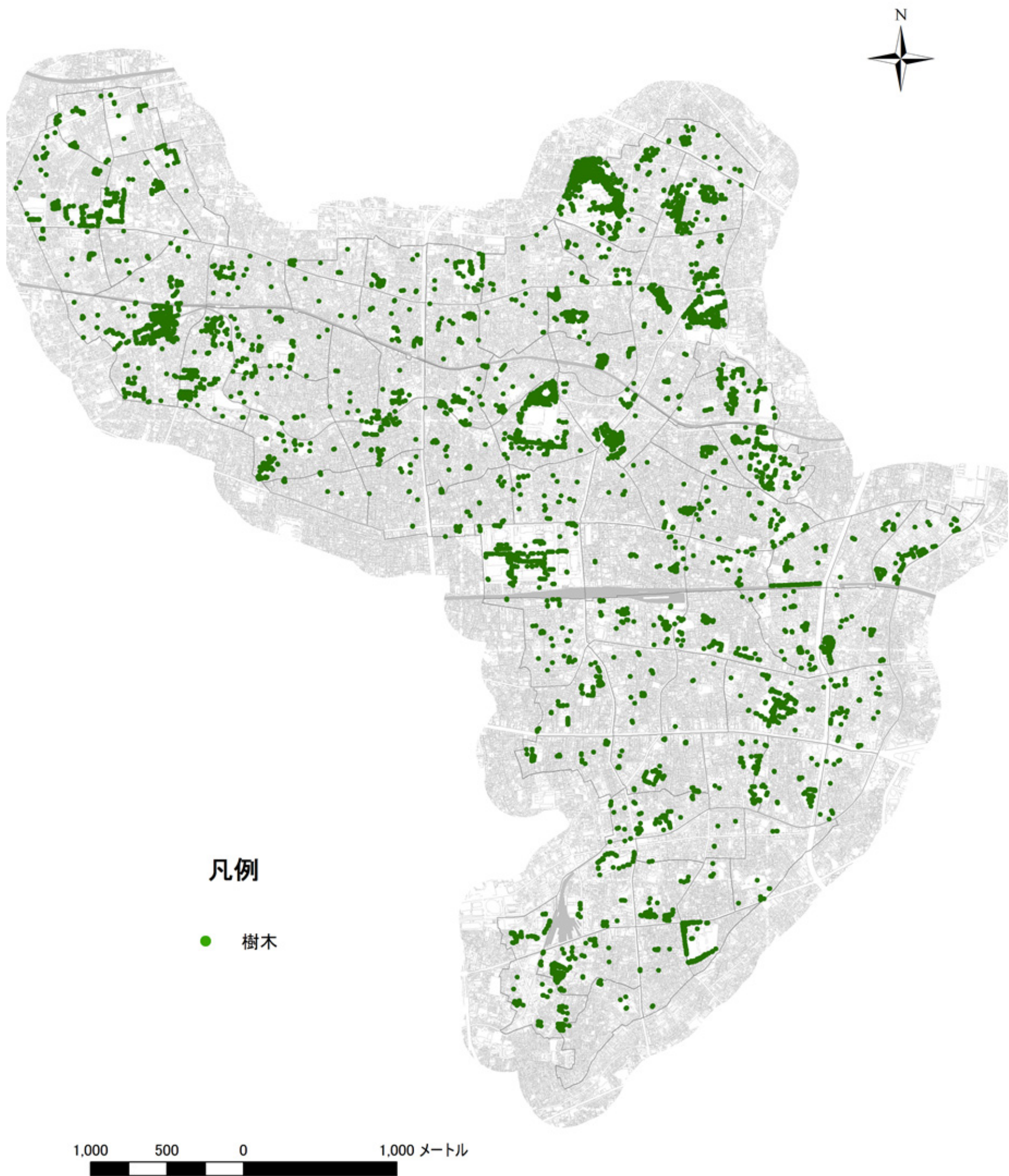


図 6-2 樹種別割合

樹種別の幹周り別の本数を表 6-4 に示す。幹周りが 150cm～300cm 以上の樹種では、ケヤキ、サクラ、イチョウが上位を占める。またケヤキについては幹周りが 150～200cm のものが約 4 割である。幹周りが 300cm 以上では、サクラが 33 本と最も多い。またクスノキの割合も幹周り 300cm 以上では比較的高い。その要因としては、伐採による消失の可能性の低い公園、学校等で多く植えられていることが挙げられる。

表 6-4 樹種別の幹周りランク別本数

樹種名	120cm未満	120～150cm	150～200cm	200～250cm	250～300cm	300cm以上	合計
ケヤキ	79本	273本	467本	183本	54本	18本	1,074本
サクラ	41本	107本	249本	228本	118本	33本	776本
イチョウ	111本	222本	253本	105本	34本	15本	740本
ヒマラヤスギ	62本	131本	171本	62本	32本	14本	472本
シイ	26本	85本	131本	48本	13本	6本	309本
クスノキ	39本	103本	148本	57本	27本	19本	393本
カシノキ	45本	81本	76本	30本	7本	1本	240本
マツ	31本	62本	49本	22本	1本	2本	167本
サワラ	55本	49本	16本	2本	1本	0本	123本
エノキ	13本	30本	48本	13本	6本	2本	112本
コナラ	18本	32本	39本	16本	5本	0本	110本
その他	203本	370本	307本	126本	36本	20本	1,062本
合計	723本	1,545本	1,954本	892本	334本	130本	5,578本



この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有しています。（利用許諾番号）MMT 利許第 27009 号-51

図 6-3 樹木分布図

## 2) 区民活動センター別・町別の樹木の状況

区民活動センター別、町別の状況を表 6-5、6-6 に示す。

区民活動センター別では、江古田地域が 1,314 本と樹木が最も多く、次いで鷺宮地域の 724 本であった。江古田地域では、主な樹木分布地は、江古田の森公園、哲学堂公園や公社江古田住宅の樹木である。鷺宮地域の主な樹木分布地は、公社鷺宮西住宅や区立小中学校であった。

町別においては、前述の公園や公共公益施設の位置する江古田（697 本）、白鷺（511 本）の樹木本数が多い。また平和の森公園、新井薬師公園等を有する新井においても樹木本数が 466 本と多い。

表 6-5 区民活動センター別の幹周りランク別本数

区民活動センター	面積 (ha)	幹 周 り ( 本 )						合計 (本)	10ha当たり本数
		120cm未満	120~150cm	150~200cm	200~250cm	250~300cm	300cm以上		
南中野	148.54	43	98	148	91	30	12	422	28
弥生	76.33	16	25	34	20	4	6	105	14
東部	138.17	59	113	171	59	23	7	432	31
鍋横	72.33	34	53	48	25	5	3	168	23
桃園	111.74	38	100	123	56	15	6	338	30
昭和	77.20	17	27	45	30	18	2	139	18
東中野	33.66	23	41	41	2	3	0	110	33
上高田	85.41	58	86	131	65	24	10	374	44
新井	72.50	68	149	174	42	17	6	456	63
野方	128.33	63	103	108	34	13	4	325	25
沼袋	89.03	17	44	65	42	15	13	196	22
江古田	142.94	128	359	445	234	107	41	1,314	92
大和	74.40	18	39	63	23	13	1	157	21
鷺宮	205.23	115	232	233	107	28	9	724	35
上鷺宮	101.70	26	76	125	62	19	10	318	31
区全体	1,557.51	723	1,545	1,954	892	334	130	5,578	36

※面積は図形面積とする。

※面積は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

表 6-6 町別の幹周りランク別本数

町名	面積 (ha)	幹 周 り ( 本 )						合計 (本)	10ha当たり 本数
		120cm未満	120～150cm	150～200cm	200～250cm	250～300cm	300cm以上		
南台	82.77	27	62	95	57	15	11	267	32
弥生町	101.09	19	40	56	37	15	1	168	17
本町	107.63	43	72	78	40	7	8	248	23
中央	115.36	40	70	102	43	19	4	278	24
東中野	95.02	50	95	113	31	25	6	320	34
中野	145.66	53	117	163	69	16	7	425	29
上高田	100.54	63	94	140	71	26	10	404	40
新井	79.71	66	157	179	43	16	5	466	58
沼袋	67.25	17	42	61	37	11	12	180	27
松が丘	36.65	37	106	118	62	19	4	346	94
江原町	51.55	30	86	104	48	18	1	287	56
江古田	76.51	61	169	227	129	74	37	697	91
丸山	27.40	14	26	23	17	3	2	85	31
野方	92.76	46	61	77	17	11	2	214	23
大和町	69.93	14	36	57	20	12	1	140	20
若宮	66.25	17	38	38	23	1	0	117	18
白鷺	61.15	85	162	164	73	19	8	511	84
鷺宮	88.50	17	36	36	15	10	1	115	13
上鷺宮	91.76	24	76	123	60	17	10	310	34
区全体	1,557.51	723	1,545	1,954	892	334	130	5,578	36

※面積は図形面積とする。

※面積は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

区民活動センター別、町別の10ha当たりの樹木本数と単位当たりの本数の比較を行った結果を図6-4、図6-6に示す。また、樹林調査による樹林率（対象地域面積に対する樹林面積の割合）と10ha当たりの樹木本数との比較を行った結果を図6-5、図6-7に示す。

10ha当たりの樹木本数と区民活動センター別の樹林率の大小は、ほぼ同様の傾向を示していることから、樹林は、調査対象となる樹木規模のものにより構成されていることが推測される。

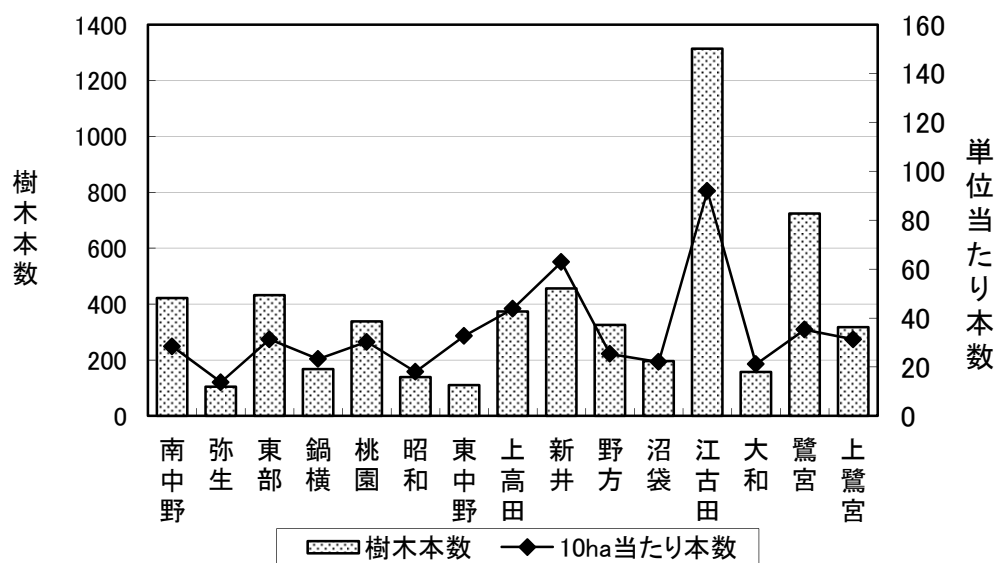


図6-4 区民活動センター別の樹木本数と単位当たり本数

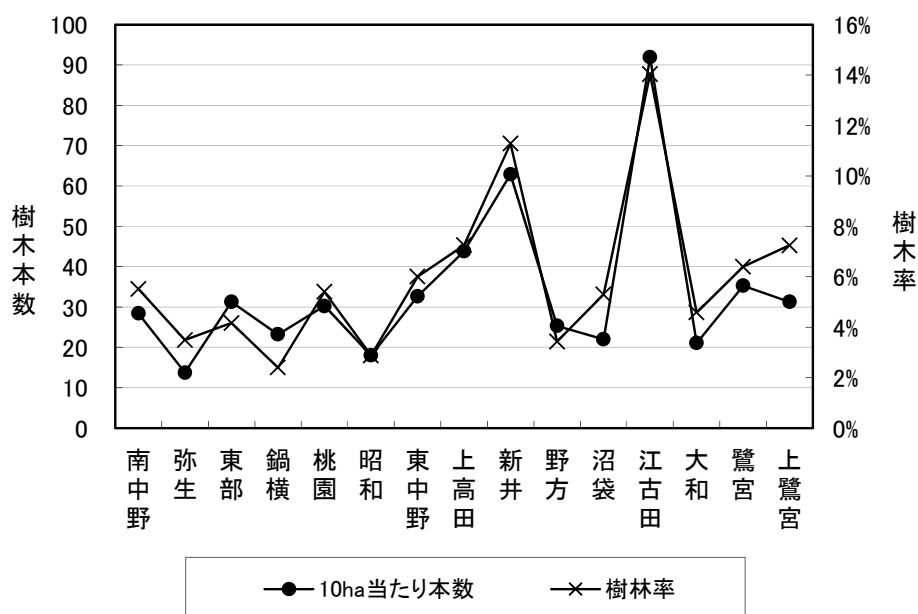


図6-5 区民活動センター別の10ha当たりの樹木本数と樹林率（樹林調査）との関係

町別の樹木本数、10ha 当たりの樹木本数及び樹林率との関係については、全体としては3者間に相関関係が見られるが、江古田、白鷺、松が丘での10ha 当たりの樹木本数と樹林率の突出が認められる。

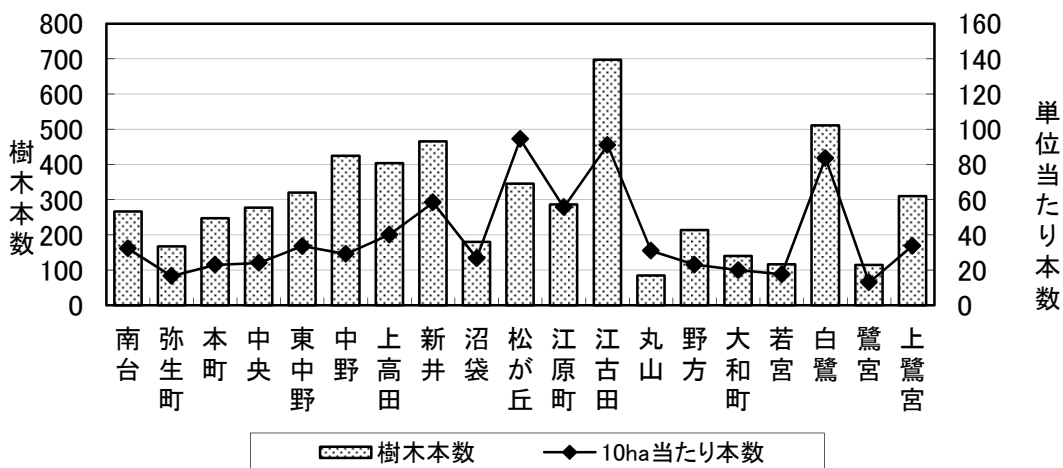


図 6-6 町別の樹木本数と単位当たり本数

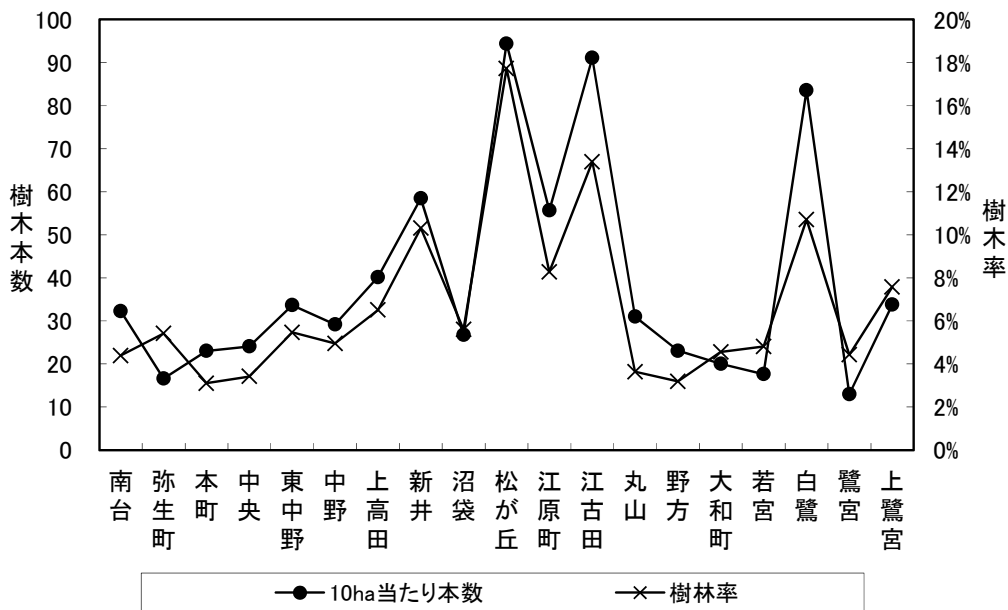


図 6-7 町別の 10ha 当たりの樹木本数と樹林率（樹林調査）との関係



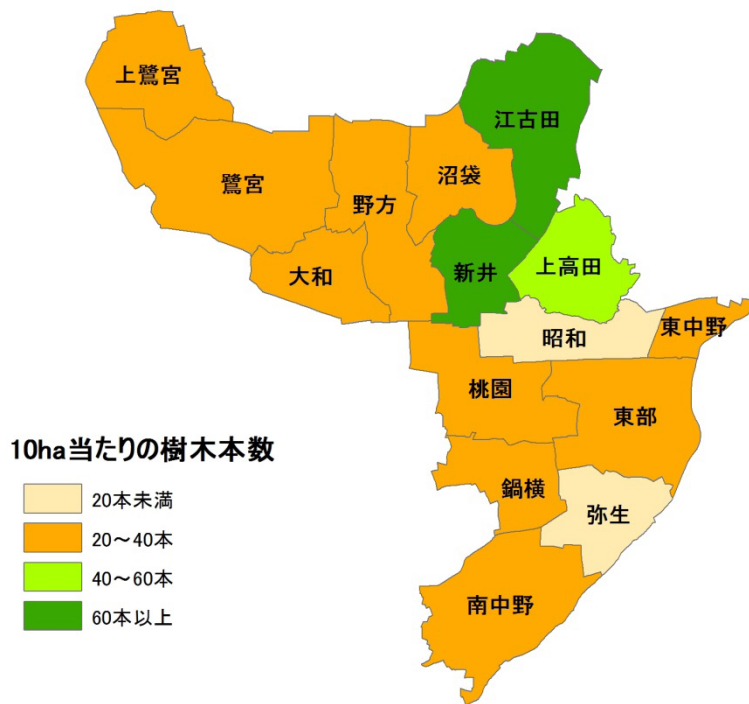


図 6-8 区民活動センター別の樹木本数と単位当たり本数

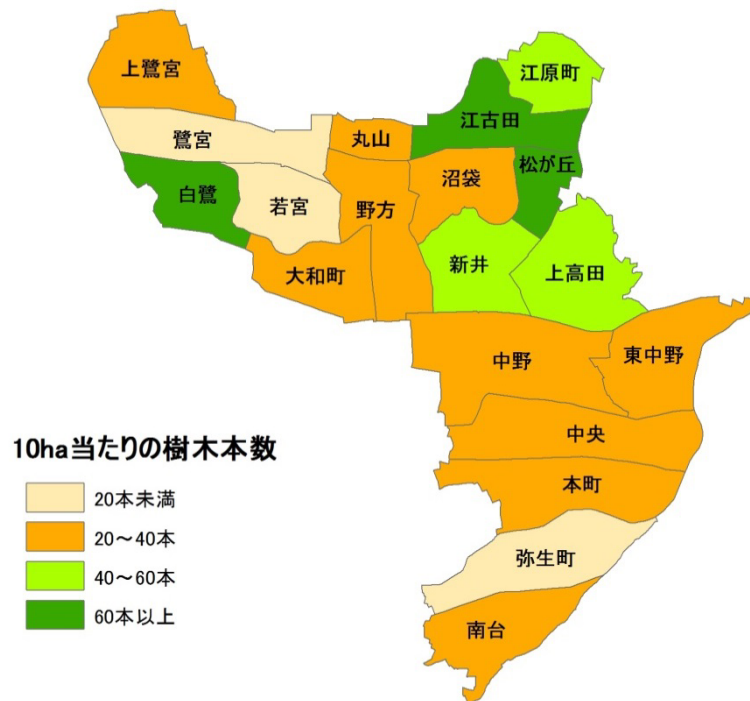


図 6-9 町別の樹木本数と単位当たり本数

### 3) 用途地域別・土地利用別の樹木の状況

用途地域別の幹周り別樹木本数を表 6-7 に示す。

住居系地域の樹木本数が 5,034 本と区全体の樹木本数の約 9 割を占める。これは区の約 8 割が住居系の地域であることも要因として挙げられる。商業系地域は 497 本で、その約 8 割が近隣商業地域に分布している。工業系地域は 47 本と最も少なく準工業地域がそのほとんどを占める。

表 6-7 用途地域別の幹周り別本数

用途地域		建ぺい率	160cm未満	160～200cm	200～300cm	300cm以上	合計
住居系	第1種低層住居専用地域	40	112	80	60	6	258
	第1種低層住居専用地域	50	117	66	43	2	228
	第1種低層住居専用地域	60	948	501	467	43	1,959
	第1種低層住居専用地域 計		1,177	647	570	51	2,445
	第1種中高層住居専用地域	60	1,223	652	526	65	2,466
	第2種中高層住居専用地域	60	3	0	3	0	6
	第1種住居地域	60	56	40	19	2	117
住居系			2,459	1,339	1,118	118	5,034
商業系	近隣商業地域	80	193	115	86	8	402
	商業地域	80	65	17	10	3	95
商業系			258	132	96	11	497
工業系	準工業地域	60	24	9	11	1	45
	準工業地域(特別工業地区)	60	0	1	1	0	2
	準工業地域		24	10	12	1	47
工業系			24	10	12	1	47
区全体			2,741	1,481	1,226	130	5,578

土地利用別の幹周り別樹木本数を表 6-8、図 6-10 に示す。

樹木本数が最も多いのは公園・運動場等の 1,907 本、次いで教育施設が 1,020 本であった。10ha 当たりの樹木本数では、公園・運動場等が 414 本/10ha、次いで宗教施設が 297 本/10ha、興行施設が 222 本/10ha であった。また、幹周り 300cm 以上の樹木は、公園・運動場等で 42 本、宗教施設(社寺林)で 29 本と多く分布している。公園や社寺林は土地の担保性が高く、樹木が伐採される可能性が比較的低いことから大木へと生長した樹木が多いと考えられる。

表 6-8 土地利用別の幹周りランク別樹木本数

区分	主用途	細分類	160cm 未満	160～ 200cm	200～300 cm	300cm 以上	合計	10haあたり 本数
公共用地	官公庁施設		4	4	3	0	11	20
	教育文化施設	教育施設	546	256	203	15	1,020	132
		文化施設	3	1	1	2	7	34
		宗教施設	199	179	186	29	593	297
	厚生医療施設	医療施設	13	5	2	0	20	29
		厚生施設	54	22	24	0	100	84
	供給処理施設	供給施設	0	0	0	1	1	14
処理施設		21	9	8	1	39	60	
	計		840	476	427	48	1,791	137
商業用地	事務所建築物		17	4	2	1	24	9
	専用商業施設	商業施設	5	0	2	0	7	6
		公衆浴場等	0	0	0	0	0	0
	住商併用建物		48	13	16	3	80	10
	宿泊・遊興施設	宿泊施設	13	7	0	0	20	0
		遊興施設	0	0	0	0	0	0
	スポーツ興行施設	スポーツ施設	1	0	0	0	1	6
興行施設		4	1	1	0	6	222	
	計		88	25	21	4	138	11
住宅用地	独立住宅		249	123	109	11	492	12
	集合住宅		418	161	126	6	711	17
	計		667	284	235	17	1,203	14
工業用地	専用工業	専用工業・作業場	0	3	0	0	3	12
	住居併用工場		2	1	0	0	3	5
	倉庫・運輸 関係施設	運輸施設等	3	1	3	0	7	9
		倉庫施設等	0	0	1	0	1	2
	計		5	5	4	0	14	7
農業用地	農林漁業施設		0	0	0	0	0	0
	屋外利用地・ 仮設建物		82	51	46	10	189	36
	公園・運動場等		920	536	409	42	1,907	414
	未建築宅地・ 未利用地		93	78	45	7	223	71
	道路		38	11	12	0	61	2
	鉄道・港湾等		4	6	20	2	32	17
	計		1,137	682	532	61	2,412	57
農用地	畑		0	1	3	0	4	1
	水面・河川・水路		3	3	1	0	7	1
	森林		1	5	3	0	9	203
	計		4	8	4	0	16	14
その他		0	0	0	0	0	0	
区全体			2,741	1,481	1,226	130	5,578	36

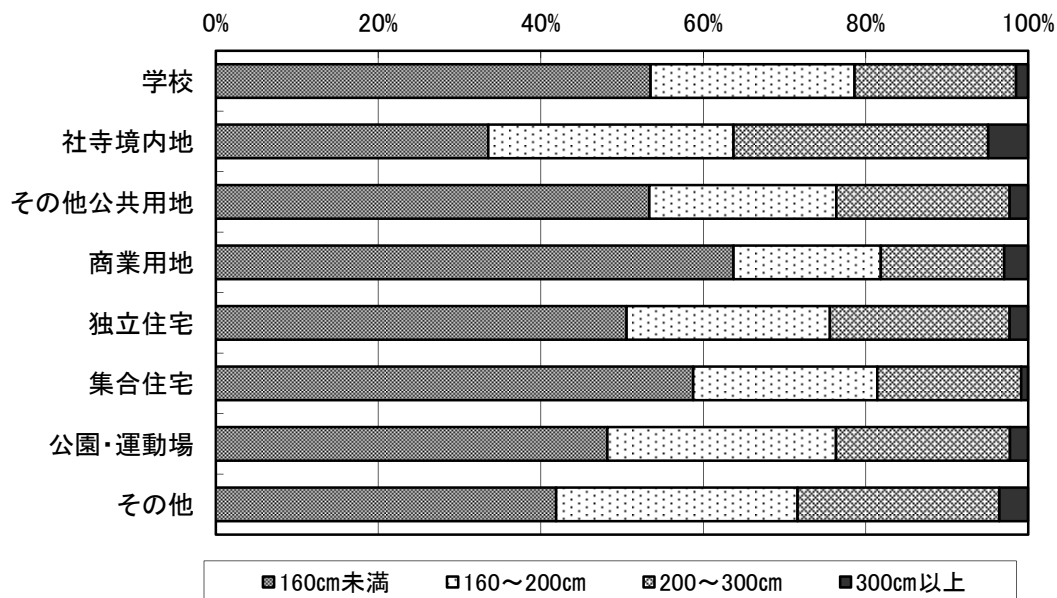


図 6-10 土地利用別・幹周り別樹木の割合

土地利用別の樹種別樹木本数を表 6-9 に示す。

公園・運動場等では、ケヤキが最も多く、その他を除き、次いでイチョウ、クスノキ、サクラが多い。教育施設では、サクラが最も多く、独立住宅では、ケヤキ、サクラの他にカシノキ、シイノキが多く確認された。集合住宅では、サクラが最も多く、次いでケヤキ、イチョウが多く確認された。

樹種別では、ヒマラヤスギは教育施設（128 本）で最も多く、次いで公園・運動場等（116 本）、集合住宅（83 本）で多い。シイは、公園・運動場等（100 本）で最も多く確認され、次いで宗教施設（54 本）、独立住宅（45 本）であった。クスノキは、公園・運動場等（180 本）で全体の約半数が確認され、その他宗教施設（64 本）、教育施設（53 本）でも多く確認された。カシノキは、公園・運動場等（84 本）に次いで、独立住宅（52 本）、宗教施設（41 本）が多かった。またマツは、公園・運動場等（83 本）で多く見られるとともに宗教施設（30 本）、独立住宅（22 本）においても比較的多く確認された。

表 6-9 土地利用別の樹種別樹木本数

区分	主用途	細分類	ケヤキ	サクラ	イチョウ	ヒマラヤ スギ	シイ	クスノキ	カシノキ	ユリノキ	シデ	マツ	サワラ	エノキ	コナラ	その他	合計
公共用地	官公庁施設		2	1	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	教育文化施設	教育施設	134	258	216	128	27	53	24	20	1	6	9	15	5	124	1,020
		文化施設	0	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
		宗教施設	88	48	117	18	54	64	41	1	29	30	10	13	1	79	593
	厚生医療施設	医療施設	7	0	0	0	6	4	2	0	0	0	0	0	0	1	20
		厚生施設	19	20	24	4	1	5	5	2	0	8	1	3	0	8	100
	供給処理施設	供給施設	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		処理施設	6	4	1	12	1	5	0	0	0	0	2	1	1	6	39
計			256	334	358	170	92	131	72	23	30	44	22	32	7	220	1,791
商業用地	事務所建築物		10	2	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	7	24
	専用商業施設	商業施設	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	7
		公衆浴場等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住商併用建物		9	20	4	3	7	7	7	1	0	1	11	1	0	9	80
	宿泊・遊興施設	宿泊施設	0	0	0	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
		遊興施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ興行施設	興行施設	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6
計			21	23	9	22	8	11	8	1	0	1	12	1	0	21	138
住宅用地	独立住宅		109	66	35	23	45	11	52	0	6	22	10	17	4	92	492
	集合住宅		142	163	113	83	39	22	10	11	1	7	20	9	0	91	711
	計		251	229	148	106	84	33	62	11	7	29	30	26	4	183	1,203
工業用地	専用工業	専用工業・ 作業場	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	住居併用工場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
	倉庫・運輸 関係施設	運輸施設等	2	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7
		倉庫施設等	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計		2	6	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	14	
農用地	農林漁業施設		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農用地	屋外利用地・ 仮設建物		32	9	10	21	4	10	12	11	10	7	3	1	21	38	189
		公園・運動場等	434	122	184	116	100	180	84	56	30	83	41	44	78	355	1,907
	未建築宅地・ 未利用地	55	16	17	32	14	28	1	2	7	2	15	7	0	27	223	
	道路	18	7	10	4	7	0	0	0	1	0	0	1	0	13	61	
	鉄道・港湾等	0	30	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	
	計		539	184	222	174	125	218	97	69	48	92	59	53	99	433	2,412
農用地	畑		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	水面・河川・水路		1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	7
		森林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
計		1	0	1	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	4	16	
その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区全体			1,074	776	740	472	309	393	240	105	94	167	123	112	110	863	5,578

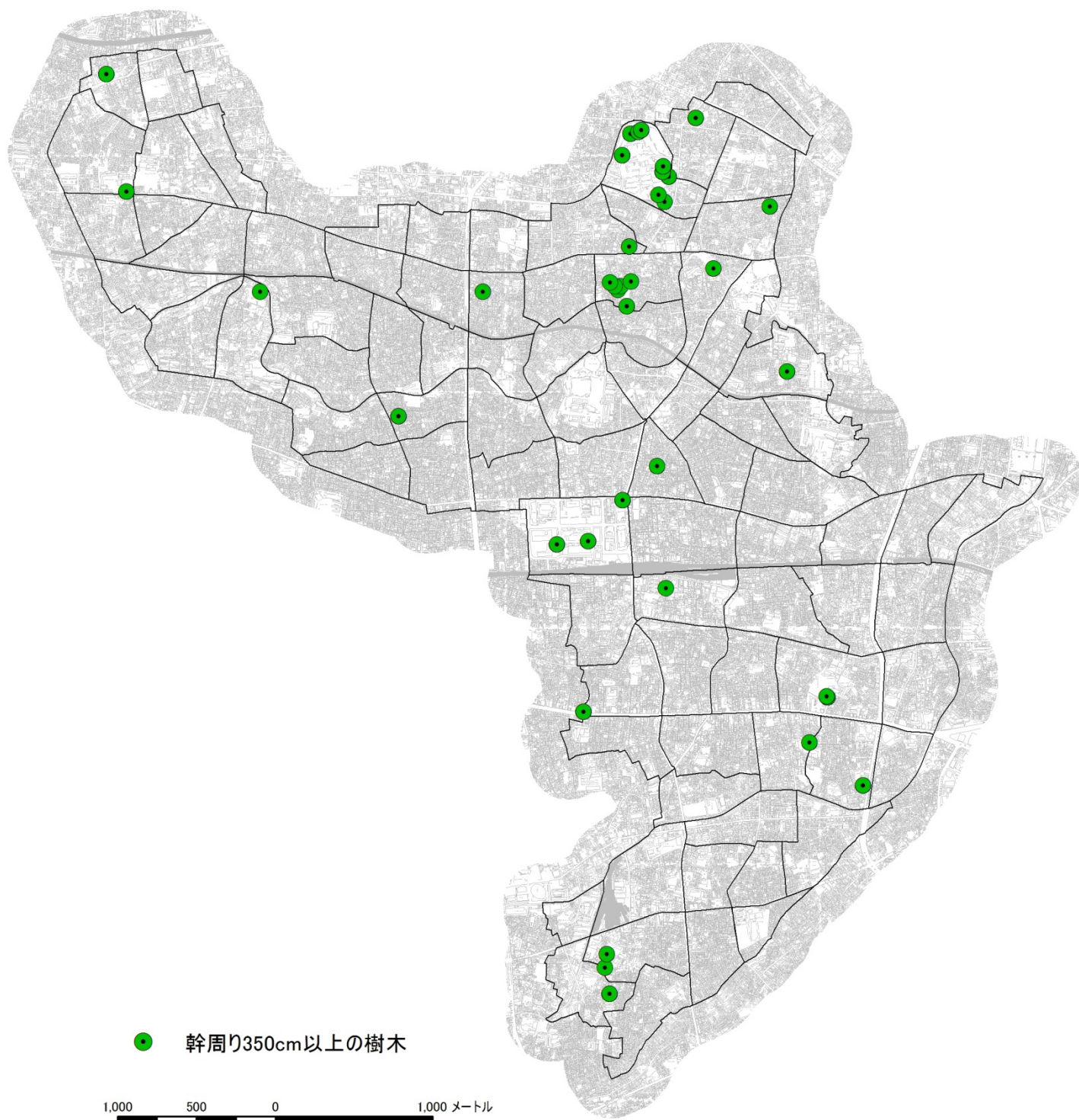
#### 4) 巨木の状況

幹周りが350cm以上の巨木の状況を表6-10、図6-11に示す。

区全体では幹周りが350cm以上の巨木は38本確認された。最も幹周りが大きい樹木は、禅定院のイチョウの477cmであった。次いで、江原町二丁目の個人住宅内のムクノキの幹周りが473cm、禅定院にあるクスノキ(株立)の幹周りが467cmであった。このほか、土地利用別の状況としては、公共施設では歴史民俗資料館のシイの457cm(株立)、公園では、江古田の森公園のユリノキ(427cm)、学校では桃園小学校のクスノキ(382cm)が最も大きかった。巨木の約4割が担保性の高い社寺境内地に存在し、約2割が公園にあることが分かる。またその他学校、事業所、個人住宅等でも巨木が確認された。

表6-10 幹周り350cm以上の樹木

No.	樹種名	幹周り (cm)	樹高 (m)	町丁目名	土地利用	備考
1	イチョウ	477	16	沼袋二丁目	寺社境内	
2	ムクノキ	473	20	江原町二丁目	個人住宅	
3	クスノキ	467	14	沼袋二丁目	寺社境内	株立
4	シイ	457	12	江古田四丁目	公共施設	株立
5	クスノキ	448	13	南台三丁目	寺社境内	
6	クスノキ	442	18	中野四丁目	事業所	
7	ユリノキ	427	20	江古田三丁目	公園	
8	クスノキ	425	18	野方四丁目	個人住宅	
9	イチョウ	421	25	中央二丁目	寺社境内	
10	ケヤキ	419	16	上鷺宮四丁目	公園	株立
11	イチョウ	413	18	江古田三丁目	寺社境内	
12	サクラ	413	9	南台五丁目	公園	
13	イチョウ	408	22	沼袋二丁目	寺社境内	
14	クスノキ	403	16	松が丘二丁目	公園	
15	クスノキ	393	15	江古田三丁目	未利用地	
16	ケヤキ	392	27	江古田三丁目	未利用地	
17	クスノキ	382	12	本町三丁目	学校	
18	イチョウ	380	16	中央二丁目	寺社境内	
19	カシノキ	380	17	南台三丁目	寺社境内	
20	ケヤキ	378	18	白鷺一丁目	寺社境内	
21	ケヤキ	374	15	中野二丁目	公共施設	
22	クスノキ	373	14	新井一丁目	寺社境内	
23	ユリノキ	372	30	江古田三丁目	公園	
24	クスノキ	372	14	江古田一丁目	個人住宅	
25	クスノキ	372	17	中野四丁目	事業所	株立
26	ユリノキ	369	28	江古田三丁目	公園	
27	イチョウ	364	18	沼袋二丁目	寺社境内	
28	イチョウ	362	16	大和町二丁目	公園	
29	ケヤキ	361	11	中野四丁目	事業所	株立
30	エノキ	361	15	江古田三丁目	公園	株立
31	クスノキ	360	16	沼袋二丁目	寺社境内	
32	ポプラ	358	30	本町二丁目	寺社境内	
33	イチョウ	358	12	上高田五丁目	寺社境内	
34	ユリノキ	357	25	江古田三丁目	公園	
35	サクラ	355	10	上鷺宮五丁目	学校	
36	ユリノキ	355	9	沼袋二丁目	寺社境内	
37	サクラ	353	10	江古田三丁目	寺社境内	
38	イチョウ	350	11	中央五丁目	寺社境内	



● 幹周り350cm以上の樹木

1,000 500 0 1,000メートル

この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有しています。  
（利用許諾番号）MMT 利許第 27009 号-51

図 6-11 巨木分布図

### 6-3 樹木の推移

平成 19 年度調査から平成 28 年度調査の幹周り別樹木本数の経年変化を表 6-11、図 6-12 に示す。区全体では、樹高 9m 以上、地上高 1.5m の幹周り 100cm 以上の樹木は-573 本の減少であった。幹周り別の本数を比較すると、200cm 未満は減少であるが、200cm 以上は増加している。減少の状況を見てみると、幹周り 120cm 未満の樹木の減少が-316 本と最も多く、次いで幹周り 120～150cm が-284 本の減少、幹周り 150～200cm の樹木の減少が-116 本と多いことから、幹周りの小さい樹木ほど減少が大きいことが分かる。これは開発等で伐採が行われる際、ある程度大きい樹木は意図的に残され、小さいものは伐採されていることが可能性として考えられる。

幹周りが 200cm 以上の樹木については、幹周り 250～300cm の樹木の増加が 92 本と最も多い。増加の主な理由としては、幹周りの大きい樹木の分布が公園や公的集合住宅、社寺境内地などの担保性のある土地に多くあり、保全された状態で樹木が生長したことによると思われる。

表 6-11 幹周り別樹木本数の経年変化

幹周り	平成19年度	平成28年度	増減	変化率
120cm未満	1,039	723	-316	69.6
120～150cm	1,829	1,545	-284	84.5
150～200cm	2,070	1,954	-116	94.4
200～250cm	858	892	34	104.0
250～300cm	242	334	92	138.0
300cm以上	113	130	17	115.0
合計(本)	6,151	5,578	-573	90.7

(本)

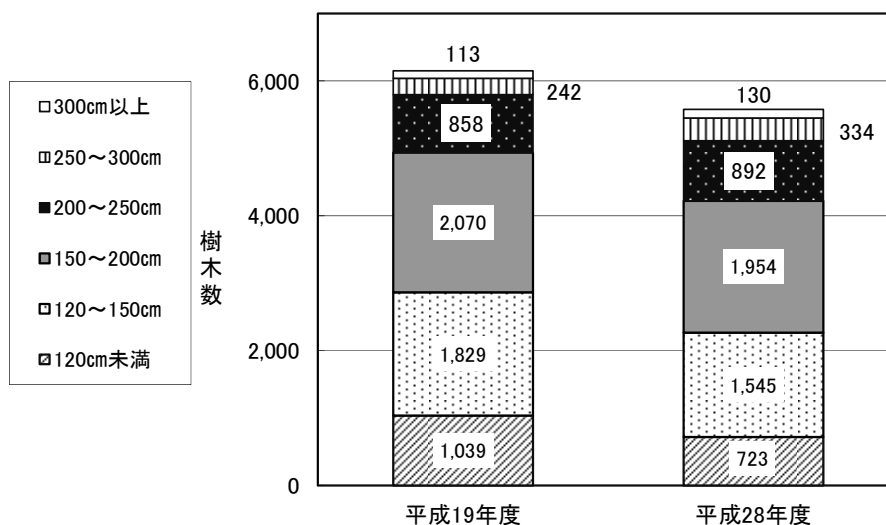


図 6-12 幹周り別の樹木本数の経年変化



樹種別の樹木本数の経年変化を表 6-12 に示す。

平成 19 年度から平成 28 年度で最も減少した樹種は、サクラの-124 本であった。白鷺せせらぎ公園の整備と、中野四丁目地区の再開発に伴い消失したサクラが多い。次いで、ケヤキ (-89 本)、イチョウ (-51 本) が減少している。一方、平成 19 年度調査より最も増加した樹種は、サワラの 47 本であった。次いでクスノキ (26 本)、ムクノキ (18 本)、エノキ (8 本) が増加した。

表 6-12 樹種別本数の経年変化

樹種	平成19年度	平成28年度	増減	変化率
ケヤキ	1,163	1,074	-89	92.3
サクラ	900	776	-124	86.2
イチョウ	791	740	-51	93.6
ヒマラヤスギ	490	472	-18	96.3
クスノキ	367	393	26	107.1
シイ	387	309	-78	79.8
カシノキ	269	240	-29	89.2
マツ	181	167	-14	92.3
サワラ	76	123	47	161.8
エノキ	104	112	8	107.7
コナラ	114	110	-4	96.5
ユリノキ	125	105	-20	84.0
ムクノキ	80	98	18	122.5
シデ	120	94	-26	78.3
その他	984	765	-219	77.7

次に町別樹木本数の経年変化を表 6-13 に示す。

町別では、減少が 12、増加が 7 であった。最も多いのは中野で-172 本であった。これは主に中野四丁目地区の再開発に伴う樹木の伐採によるが、本地区計画により新規に植栽された樹木も多く、今後の成長が期待される。その他、中野南自転車駐車場の再整備によっても樹木の伐採が確認された。次いで、樹木の減少が多いのは、江古田の-149 本、白鷺の-95 本であった。江古田では、江古田三丁目地区の国家公務員宿舎跡地を活用した集合分譲住宅等の整備工事に伴う一時的な更地化による樹木の減少が主な要因であった。白鷺においては、白鷺せせらぎ公園の整備や公社鷺宮西住宅の再整理に伴う樹木の減少が主な要因であった。一方、樹木の増加が最も多く確認されたのは新井の 105 本、次いで上高田の 90 本であった。新井では、平和の森公園における樹木の生長により新たに調査対象となった樹木が加わったことによる増加が考えられる。また上高田では、区立第五中学校や中野上高田公園等における樹木の生長による樹木の増加が確認された。

また、調査対象の樹木は樹高 9m で幹周りが 100cm 以上の樹木であるが、大木であっても強剪定によって樹冠部分を切り込んでいる場合は、樹高が低くなり調査対象外となっている。特に学校の樹木においては、平成 19 年度は調査対象であったものが強剪定等の影響から平成 28 年度調査では調査対象から外れている箇所が比較的多く確認された。

表 6-13 町別樹木本数の経年変化

町名	平成19年度	平成28年度	増減(本)	変化率
南台	333	267	-66	80.2
弥生町	239	168	-71	70.3
本町	216	248	32	114.8
中央	282	278	-4	98.6
東中野	273	320	47	117.2
中野	597	425	-172	71.2
上高田	314	404	90	128.7
新井	361	466	105	129.1
沼袋	247	180	-67	72.9
松が丘	304	346	42	113.8
江原町	273	287	14	105.1
江古田	846	697	-149	82.4
丸山	135	85	-50	63.0
野方	205	214	9	104.4
大和町	228	140	-88	61.4
若宮	203	117	-86	57.6
白鷺	606	511	-95	84.3
鷺宮	117	115	-2	98.3
上鷺宮	372	310	-62	83.3
区全体	6,151	5,578	-573	91